

美術手帖

BT | 2017.03

vol.69 NO.1030

Artist Interview

石川直樹



草間彌生から
読者への
最新メッセージ



特集

草間彌生

キャンバスを打ち破る、
現代の女性ペインターたち

エリザベス・ペイトン

タラ・マダーニ / ソル・カレロ / ケルスティン・ブレッチ

上野麻紀子 / エイヴァリー・シンガーほか



Painter
Interview

7

動き出す身体が

絵画に生命を吹き込む

Photo by Jonas Lindström

衣服、靴、印刷物、ガラスなど、
様々な素材にペイントされた身体と
音楽を介在させる。絵画を出発点に、
表現の可能性を広げる作家に聞く。

Donna Huanca

ドンナ・フアンカ

【鮮】

やかな青色をまとう
身体が、彫刻のように
座り、寝転がり、歩き

出す。その身体は、いわゆる「パー
フェクト」なものではなく、それぞ
れに個性がある。2014年に開
催されたベルリンのアートフェア
「abc」の開放的な会場のなかで、
視線を浴び、撮影されるモデルた
ち。床にはオブジェや鏡、壁にはペ
インティングが掛けられたフェア
の「ブース」は、ひととき観客の関
心を惹きつけていた。

ボリビア人移民の両親を持つド
ンナ・フアンカは、シカゴで生まれ
育った。幼少期から、アメリカとボ
リビア、二つの文化を精神的に移
動しつづけていた作家の幻想的か
つ物質的なインスタレーション
は、無数のストーリーを孕む。どの
ように制作は始まったのか？
「作品のマテリアルを見つけたと
ころからです。リサイクルシヨッ
プやフリーマーケットで見つけた
服を制作に使います」。